

中国株ウィークリーレポート

2019/12/9

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	28,015.06	337.27	1.22	-0.13	20.09	23,327.46
NASDAQ	8,656.53	85.83	1.00	-0.10	30.46	6,635.28
日経225	23,354.40	54.31	0.23	0.26	16.69	20,014.77
上海総合	2,912.01	12.55	0.43	1.39	16.77	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,902.39	23.02	0.59	1.93	29.62	3,010.65
ハンセン	26,498.37	281.33	1.07	0.58	2.53	25,845.70
中国企業	10,407.18	85.35	0.83	1.02	2.79	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 0.6%高と反発、上海総合指数は 1.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で 0.6%高と反発。週初は中国の景況感改善を好感した買いが先行したが、その後は米中貿易協議の動向を意識した神経質な展開が続いた。3日には米議会がウイグル人権法案を可決したことで米中対立が激化。ただ、米中協議を巡りトランプ大統領が「交渉はうまくいっている」と発言したことで再び協議進展への期待が高まった。本土市場では上海総合指数が週間で 1.4%高と 4 週ぶりに反発。週末にかけて協議の進展期待で続伸し、11 月 19 日以来の高値をつけた。

今週の展望: 香港市場は米中協議巡る動向次第の展開、15 日に第 4 弾発動

香港市場は米中協議を巡る動向に左右される展開となりそうだ。15 日の対中制裁関税第 4 弾発動を前に詰め交渉が続いているが、米中合意の実現で関税の発動が回避されるか、それとも時間切れで全面発動となるかが大きな焦点。協議がまとまらなければ週末にかけてリスク回避の売りが膨らむ公算が大きい。長期化する香港の抗議デモも相場の重しとなりそうだ。本土市場も米中協議を巡る動向次第の展開が予想される。一方で中央経済工作会議の開催を前に景気対策期待が一定の相場の下支え要因となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	61.95	12.84
2 舜宇光学科技 (02382)	138.70	8.11
3 中国生物製薬 (01177)	10.62	5.15
4 吉利汽車 (00175)	15.36	4.92
5 申洲国際集団 (02313)	108.00	4.65
6 中国旺旺 (00151)	7.05	4.60
7 華潤置地 (01109)	35.30	4.28
8 中国海外発展 (00688)	27.20	3.62
9 創科実業 (00669)	60.95	3.57
10 万洲国際 (00288)	8.28	2.99

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 信和置業 (00083)	11.40	-2.90
2 長江和記実業 (00001)	69.70	-1.97
3 中電控股 (00002)	79.75	-1.18
4 HSBC (00005)	57.45	-1.12
5 恒安国際集団 (01044)	51.15	-1.06
6 中銀香港 (02388)	26.35	-0.94
7 シンペック (00386)	4.35	-0.91
8 トロフィケ (00857)	3.58	-0.83
9 ホンコン・ファイナガス (00003)	14.80	-0.80
10 長江実業地産 (01113)	51.75	-0.58

▼今週の期待材料

- ◆ 制裁関税発動回避に向け米中両国が詰め交渉、合意実現で発動回避なら大きなプラス材料に
- ◆ 11 月の米雇用統計で非農業部門の就業者数が市場予想上回る 26 万 6000 人増加、失業率は 50 年ぶり低水準
- ◆ 6 日に中国共産党中央政治局会議開催、中央経済工作会議の開催近づき景気対策期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆ 中国の 11 月の米ドル建て輸出が前年同月比 1.1%減少、市場予想 (1.0%増) に反して減少
- ◆ 米中協議で「第 1 段階」の合意が実現できない場合は予定通り 15 日に対中制裁関税第 4 弾を発動
- ◆ 香港区議会選で民主派圧勝後も抗議デモ継続、8 日には 80 万人規模の大規模デモを実施

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 越秀地産 (00123) : 11 月の不動産販売額が前年同月比 3 倍に拡大
- ☆ Q テクノロジー (01478) : 11 月のカメラモジュール出荷量が 66%増加
- ☆ 中国郵政儲蓄銀行 (01658) : 10 日に上海市場に重複上場、公開価格は 5.5 元に決定
- ☆ 安踏体育用品 (02020) : 19 年本決算の純利益は 30%超増加の見通し
- ☆ 中国人民財産保険 (02328) : 19 年の保険料収入が 4000 億元を突破、過去最高を更新
- ◇ 吉利汽車 (00175) : 11 月の新車販売台数は 1%増、前月比では 10%増加
- ◇ 新世界百貨 (00825) : 新世界発展に化粧品事業を売却、百貨店事業に経営資源集約
- ★ 香港鉄路 (00066) : 香港デモによる損失額が 16 億 HK ドル相当に上る見通しを発表
- ★ BYD (01211) : 11 月の新車販売台数が 19%減少、新エネ車は 63%の大幅減
- ★ 光大証券 (06178) : 11 月の純利益が 84%減少、営業収益は 35%減

▼今週の主なイベント

- 12 月 10 日 (火)
- 【米国】FOMC (~11 日)
- 12 月 15 日 (日)
- 【米国】対中制裁関税第 4 弾発動予定

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。